

<以下、抄訳ですので、使用に当たっては、原文をご確認ください>

2021-07-07 09:28 来源：监测减灾司

国家防災委員会事務局及び緊急管理部 7月の全国の自然災害リスク状況を発表

最近、国家防災委員会事務局と緊急管理部が、天然資源部、水資源部、農業農村部、中国気象局、国家林業草地局と共に、7月の全国自然災害リスク状況について検討した。総括分析では、7月に降雨帯が北に移動すると共に、南方の梅雨期が終わり、北方では予定より早く雨季に入ると思われる。中国の7大河川流域は全面的に洪水期に入り、全国の自然災害リスク状況はより深刻で複雑になるでしょう。夏休みが近づくとつれ、交通や観光活動が増加し、洪水期に於ける各種の災害リスクに細心の注意を払う必要がある。

南北の多くの地帯で洪水災害リスクが高まっています。内モンゴル中央部、東北地区南部、華北、江漢地区西南部、江南地区西北部、西北地区東北部、西南地区東部、チベット東南部及び新疆ウイグル自治区西南部等の降水量は20%から50%以上増加すると推定されます。7月上旬には降雨帯は西南地区東部、江漢、江南地区北部、江淮地区に位置し、その後中旬前期に降雨帯は北上し、華東、東北部南部一帯にかけて移動します。揚子江流域の烏江、赤水河、青江、洞庭湖水系及び鄱陽湖水系、黄河中流域山陝区間及び渭河、淮河上中流域及び淮南支流、松遼流域黑龙江、嫩江、松花江、辽河等河流において警戒レベルを超える洪水が発生する可能性があります。太湖流域の錢塘江、民江等の河川流域では、地域的な暴風雨や洪水が発生する可能性があります。上記の北方地域では特に、地域的な大雨による中小河川の氾濫や、局地的な大雨による都市・農村の湛水などの災害リスクに対する防災措置が必要です。継続的な降雨及び上流から流れ来る水の影響で、今年は東北地区での洪水発生時期が早まり、6月に黒竜江省上流部で壊滅的な洪水が発生し、嫩江で

警戒レベルを超える洪水が発生しました。7月上旬でも水位は依然高水準を維持しており、対応措置後に再度の洪水を防ぐ為の地域防災管理に課題を齎しました。

非常に強い対流性の天候は、災害リスクを高めています。今年上半期には、全国で19回の大規模な強対流気象現象が発生し、強風と竜巻が頻繁に発生、風雹災害により81人が死亡・失踪しました。これは、災害死亡・失踪者数の52%を占めており、他の災害よりもはるかに多い。7月も各地で強対流性気象が頻繁に発生することが予想され、風雹災害は多方面で発生し、防災が難しい特徴があります。また、7月は竜巻の発生が最も多い月でもあり、近年、農村部での落雷による死亡者数が顕著に増加しています。

華南、東南海岸は2~3ヶの台風の影響を受ける可能性がある。台風の全体的な強さは中程度から弱程度であり、年の中旬以降になるでしょう。沿岸では温帯暴風による高潮被害が1ヶ、台風による高潮被害が1ヶ発生し、東シナ海と南シナ海では2-3回の4m以上の災害性高潮が発生するでしょう。

西南部等では地質災害のリスクが高まっています。7月は地質災害の発生が多い時期であり、丘陵地帯における高降水量は地質災害リスクを増加させます。安徽省西南部、湖北省西部、湖南西北部、重慶市東部、貴州東北部、雲南西部等で地質災害が発生する可能性が大きい。西北地帯黄土地区、長江三峡貯水池地域、漾濞や瑪多などの地震の影響を受け易い地域も地質災害の防止に努める必要があります。

東北地域、華南地域等では森林火災リスクが高くなっています。内蒙古北部、黒龍江省北部、福建省南部、広東省南部、広西省南部、新疆ウイグル自治区北部等では森林・草地の火災リスクが高くなっています。7月は大興安嶺原生林地帯に於いて落雷の発生が高い時期であり、落雷により引き起こされる大規模森林火災のリスクに注意を払う必要があります。

2021-07-07 09:28 来源：监测减灾司

国家减灾委员会办公室 应急管理部

发布 7 月份全国自然灾害风险形势

近日，国家减灾委员会办公室、应急管理部会同自然资源部、水利部、农业农村部、中国气象局、国家林草局等部门对 7 月份全国自然灾害风险形势进行会商研判。综合分析认为，7 月份，随着主雨带北移，南方梅雨期结束，北方可能提前进入雨季，我国七大江河流域将全面进入主汛期，全国自然灾害风险形势更为严峻复杂。暑期来临，交通出行、旅游活动增多，需高度重视主汛期各类灾害风险。

南北多地洪涝灾害风险高。预计内蒙古中部、东北地区南部、华北、江汉西南部、江南西北部、西北地区东北部、西南地区东部、西藏东南部和新疆西南部等地降水偏多 2-5 成。上旬主雨带主要位于西南地区东部、江汉、江南北部、江淮地区，上旬后期到中旬前期，主雨带北抬到华北、东北南部一带。长江流域乌江、赤水河、清江、洞庭湖水系及鄱阳湖水系，黄河中游山陕区间及渭河，淮河上中游及淮南支流，松辽流域黑龙江、嫩江、松花江、辽河等河流可能发生超警洪水。太湖流域片钱塘江、闽江等河流可能发生区域性暴雨洪水。上述北方地区特别要防范区域性强降水引发的中小河流洪水、局地强降水引发的城乡内涝等灾害风险。受连续降雨及上游来水共同影响，今年东北地区洪水发生时间早，6 月份黑龙江上游部分江段发生特大洪水，嫩江发生超警洪水，预计 7 月上旬水位仍然偏高，需防范后期再次发生洪水给当地防汛带来挑战。

极端强对流天气致灾风险增加。上半年，全国共出现 19 次大范围强对流天气过程，极端大风、龙卷风多发重发，风雹灾害死亡失踪 81 人，占因灾死亡失踪总人数的 52%，远高于其他灾种。预计 7 月份各地强对流天气仍将多发，风雹灾害点多面广、易发难防特点进一步凸显。此外，7 月份仍为我国龙卷风高发月份，农村地区近年雷击亡人情况突出。

华南、东南沿海可能遭受 2-3 个台风影响。台风总体强度中等到偏弱，可能始于中旬以后。我国沿海可能有 1 次灾害性温带风暴潮过程，1 次灾害性台风风暴潮过程，东海和南海海域可能出现 2-3 次 4 米以上的灾害性海浪过程。

西南等地地质灾害风险高。7 月份为地质灾害高发期，山丘区强降水引发地质灾害风险增加，安徽西南部、湖北西部、湖南西北部、重庆东部、贵州东北部、云南西部等地地质灾害发生可能性大。西北黄土地区、三峡库区、漾濞和玛多等地震影响区也需做好地质灾害防范工作。

东北、华南等地森林火险等级较高。内蒙古北部、黑龙江北部、福建南部、广东南部、广西南部、新疆北部等地森林草原火险等级较高。7 月份为大兴安岭原始林区雷击火高发期，需注意防范雷击火引发重大森林火灾风险。